

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【生活単元学習】

1. 対象 知的障害 中学部1年生 3人

2. 単元名「音楽発表会を盛り上げよう！」（全40時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・音楽発表会を盛り上げるために必要な飾りを、道具を正しく使って製作したり、できた飾りを全体のバランスを見ながら貼ったりできる。
思考力、判断力、表現力等	・作った飾りや発表の流れを振り返って改善点に気づき、「こうしたらどうかな」「もっとこうしたい」と工夫して、当日の発表準備に向かうことができる。
学びに向かう力、人間性等	・飾り付けや演出のアイデアを考えて積極的に発表したり、自分で決めた目標や役割に向かって取り組んだりできる。

4. 本時の目標

※「5」を単元で作成する場合は省略可能です。

5. 授業展開【 本時 ・ **単元** 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い
どのような飾り付けや演出をすれば音楽発表会を盛り上げることができるか。

考えるための材料		
材料A	材料B	材料C
昨年度の画像資料	制作する飾りを書き込むための体育館の見取り図	演出を記入するためのプログラム表
想定される活動	想定される活動	想定される活動
画像を見て、良かった点や工夫している点を見つける。	見取り図に制作する飾りを書き込み、イメージを可視化する。	考えた演出を書き込み、実際に試してどうであったか振り返り試行錯誤する。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）
・グループ形態：3人の小グループ。 ・時間設定：単元の初めに時間を設ける。 ・友達から出た意見を聞いて、自分の意見を出し始める。出てきた意見の板書を見て、さらにイメージを膨らませて発言する。最終的に制作するものや演出を、実現可能かどうかを含めて考え、全員で決めていく。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）
いろいろなアイデアを考えて発表できる。当日までの計画を考える過程で、実現可能な飾りや演出を取捨選択していく。単元が進むにつれてこれまでの成果を振り返ったり改善点を発見したりしながら、自分たちで考えた飾りや演出の完成に向けてやるべきことに取り組んでいく。音楽発表会が盛り上がり、会場や発表の演出の出来栄に個々が満足できる。